



さくら市立氏家小学校 学校だより

7月号

氏小だより



大志ちゃん

令和7年7月16日発行

発行者 氏家小学校長

よく考える子 なかよくする子 体をきたえる子

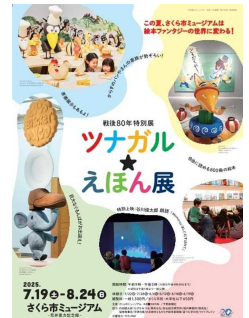
すべての子どもが輝く学校

もうすぐ夏休み ～充実した37日間を～

令和7年度のスタートから71日（1年生は69日）が経過し、1学期前半が終わろうとしています。その間、保護者や地域の皆様には、毎日の児童を元気に学校に送り出し、安全に登下校できるよう、見守り等をしていただき、ありがとうございました。おかげさまで、児童は日々の学習や学校行事、たくさんの体験活動などに一生懸命に取り組んできました。

いよいよ、7月21日から8月26日まで、37日間の長い夏休みが始まります。夏休みならではの様々な体験を通して、一回り大きく、そしてたくましくなってくれることを期待しています。近くて、安くて、楽しい催しをひとつご紹介します。さくら市ミュージアムで7月19日から8月24日まで「ツナガルえほん展」が開催されます。戦後80年、世代を超えて、親子、友達、大切な人と、絵本から伝わる平和や未来へのメッセージを受け取りに、ぜひ出かけてみてはいかがでしょうか。

さくら市ミュージアム
「ツナガルえほん展」
7月19日からスタート



★校内陸上競技大会 6月18日★

5・6年生の児童全員が参加し、さくらスタジアムで校内陸上大会が行われました。種目は、100メートル走、50メートルハードル、走り幅跳び、ボール投げ、1000メートル走の5種目です。児童は、いずれかにエントリーして自分の記録更新にチャレンジしました。タータンの上を初めて走る児童もいて、とてもよい経験になったことと思います。保護者の皆さんからいただいた応援が児童の力になりました。お世話になりました。



令和7年度・8年度 生きる力を育む歯・口の健康づくり推進校

★歯と口の健康教室 1～4年生★

本校は、今年度から2年間「生きる力を育む歯・口の健康づくり」を推進しています。1年生～4年生までの児童を対象に、自分の歯を大切に、健康な生活を送る基礎を養うため、「歯と口の健康教室」を行いました。今回は、歯科医さんや歯科衛生士さんに来ていただいて歯の観察や汚れのチェック、正しい歯磨きの仕方、食生活の見直しなどを行いました。ご家庭と連携しながら、今後も継続的に指導を続けていきたいと思っています。



★図書室は本のワンダーランド！★

図書室の担当者と保護者のボランティアの方々協力して読書週間に「花みくじ」を作ってくださいました。くじの内容は「読書券」「本の予約券」「しおり」などです。このような取組をきっかけに休み時間は児童が楽しみに図書室を利用しています。また、図書室には、季節や行事ごとに関連する本を紹介するコーナーが設けられ、児童の興味を広げたり深めたりする工夫がされ、まさにワクワク空間です。

合わせて、さくら市では、「朝読」「家読」「すきま読書」「チャレンジ読書」の4読を推奨しています。ご家庭でもぜひ「家読」にご協力ください。



★リモート対面式・地域安全会議 6月24日★

日頃から児童を見守ってくださっている警察スクールサポーター様、交通指導員様、安全パトロールの皆様をお迎えして児童とのリモート対面式をおこないました。代表児童から、日頃の感謝の気持ちをお伝えし、全校児童が各教室から大きな声でお礼を届けました。

その後、地域安全会議を行いました。主幹教諭から学校の取組を説明し、各地区の区長様や保護者の皆様からは、パトロールや交通当番をしていて気づいたことや児童のあいさつについて感想やご意見をいただきました。学校からは少子化対策として、ながら見守りをお願いしました。帰りに、新しい横断旗を必要な方にお持ちいただくことができました。

今後とも児童の安全な登下校のために、学校・家庭・地域で協働できれば幸いです。よろしくお願いいたします。



★PTA奉仕作業 7月5日★

PTAの親子奉仕作業が実施されました。土曜日の早朝にもかかわらず、7時30分から多くの保護者の方と児童が集合し、熱心に除草作業や植木の刈込作業を行ってくださいました。約1時間の作業で、植え込みの樹木がきれいに整えられ、雑草の無い黒い地面があらわれました。きれいに整った環境の中で学習ができる児童は幸せです。保護者のみなさま、児童のためにお忙しい中、奉仕作業におこしいただき、本当にありがとうございました。



間もなく梅雨明けをむかえると、夏本番の暑さです。「夏休み早く来ないかな。」七月に入ると、子どもたちから、そんな声がよく聞かれます。これから三十七日間の長い夏休みがスタートします。この間は、お盆休みもあれば、花火大会や夏祭りなどのイベントも各地で開かれていて、各家庭で様々な計画を立てていることでしょう。

私は個人的に、夏休みを楽しみに待つ感覚は、旅行前夜と似ているように感じます。心がわくわくして、何とも言えない明るい気分になり、何が楽しみなのか具体的に答えられないけれど、嬉しい高揚感に包まれます。このような経験を子ども時代から、何度も繰り返しているうちに、始まりの高揚感は、夏休みの終わりに感じる、淋しさや虚無感とセットであることを知るのでした。「間もなく夏休みが終わってしまふ」という、表したい感情とともに、カナカナの鳴き声や、夕方に吹き始める、すつかり熱気が無くなった涼風も懐かしく思い出します。「夏休みの始まりは、終わりの始まり」と感じてしまふ自分は、純粋に夏休みを楽しみに待てる子ども時代が遠くへ行ってしまったと、別の淋しさを感じます。子どもたちのわくわく感がこらやまふ。



校長室の窓から

夏休み 入道雲陣れ やつて来た
子らが喜ぶ 終わりの始まり

児童の日々の活動をぜひご覧ください。下のQRコードから氏小のホームページにアクセスできます。保護者や地域の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

